

# ロール式スクリーン & レーザープロジェクタ使用説明書

第3版 2019年 6月

一般社団法人 日本建築学会  
(問い合わせ先: 総務グループ小島 03-3456-2052)

## 目次

| 説明内容                            | 説明<br>ページ |
|---------------------------------|-----------|
| 1. ロール式スクリーンの操作方法               |           |
| 1.1) 建築会館ホールスクリーンの概要            | P.3       |
| 1.2) ロール式スクリーンの展張と格納            | P.3~4     |
| 2. 操作卓への電源投入                    |           |
| 2.1) 操作卓の主電源投入                  | P.5       |
| 3. 操作コントローラによるプロジェクタの操作と入力切替え方法 |           |
| 3.1) 建築会館ホールのプロジェクタの概要          | P.6       |
| 3.2) 操作コントローラの使用方法              | P.6       |
| 4. 演台側での入力映像切替え                 | P.8       |
| 5. ホール照明切替えの受光センサー位置            | P.8       |
| 6. 操作卓上面の端子への直接入力               | P.10      |
| 7. 大演台 / 中演台と、操作卓の結線            | P.11      |

## 1. ロール式スクリーンの操作方法

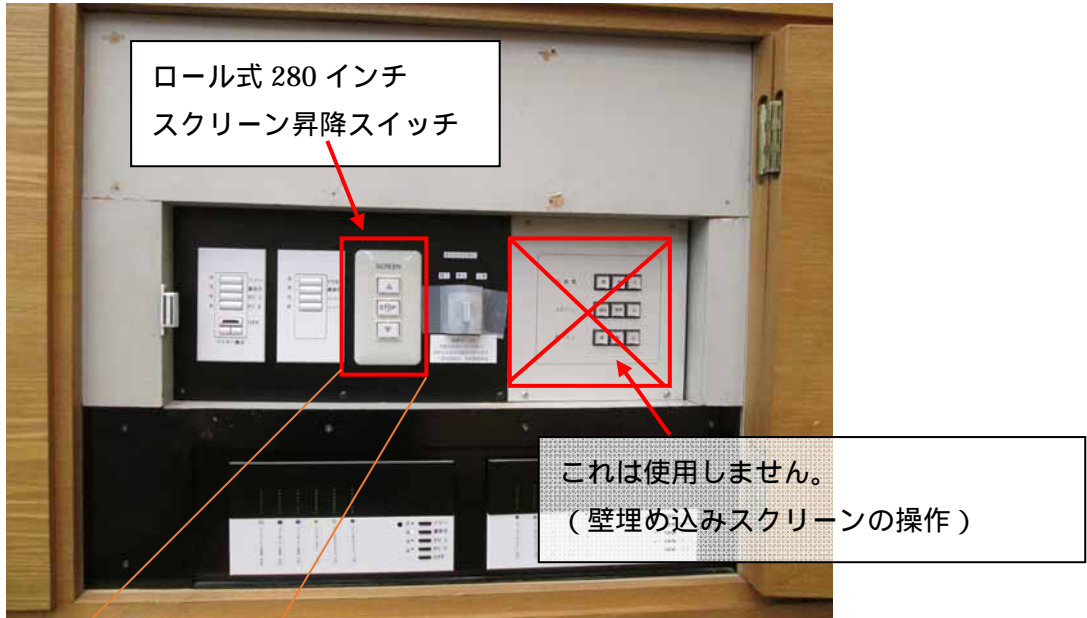
### 1.1) 建築会館ホールのスクリーンの概要

建築会館ホールには、壁面埋め込み式の200インチスクリーンと、ロール式の280インチスクリーンの2種類が備え付けられています。  
通常はロール式280インチスクリーンの使用を推奨しており、ホール後方2Fの調光室に配置されたレーザー光源プロジェクタのレンズもこれに合わせてセッティングされています。  
壁面埋め込み式の200インチスクリーンも使用できますが、この場合、可搬式の通常光源のプロジェクタでの運用となります。

### 1.2) ロール式インチスクリーンの展張と格納

ロール式インチスクリーンは使用していないときには天井に据え付けられた収納部に格納されています。使用するには、壁面左手の昇降スイッチで展張する必要があります。

1. 壁面左手の操作盤の、ロール式インチスクリーン昇降スイッチを操作します。

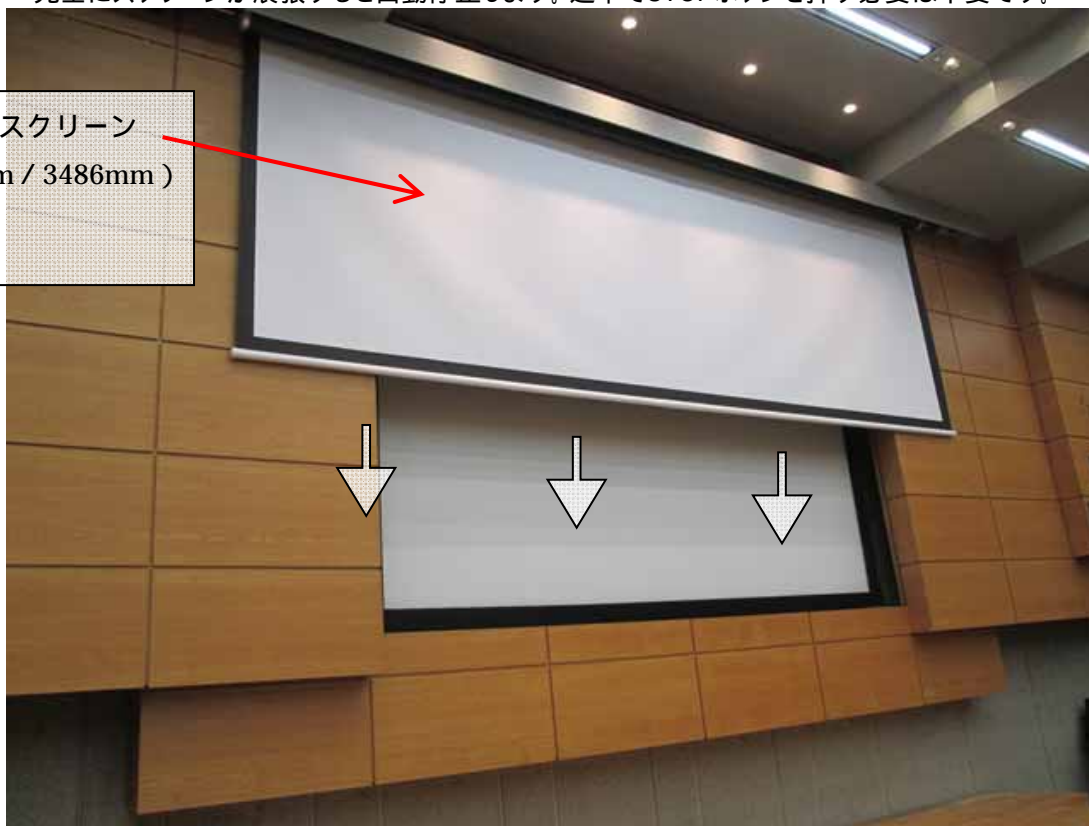


2. ロール式スクリーン昇降スイッチの[ ]ボタンを押します。

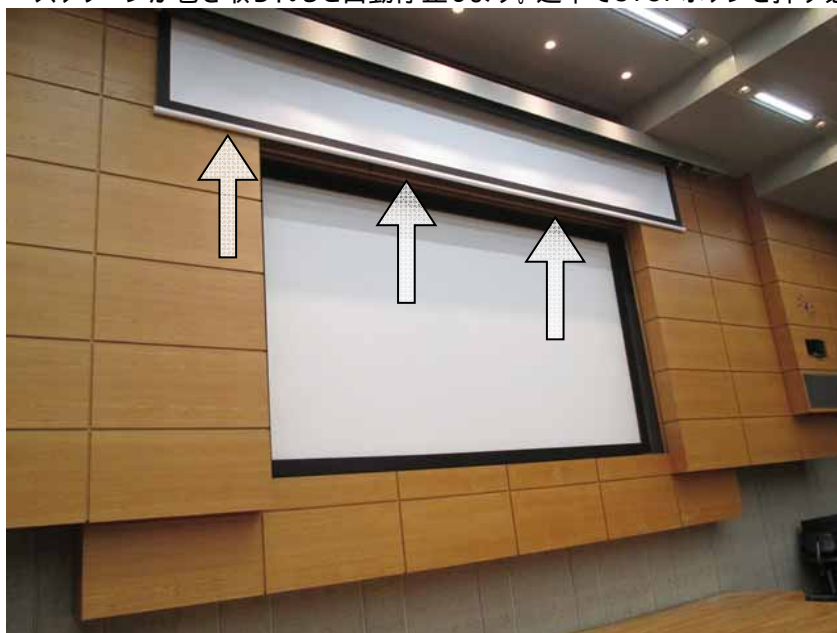


3. 天井収納部に収められたロール式スクリーンが展張します。  
完全にスクリーンが展張すると自動停止します。途中でSTOPボタンを押す必要は不要です。

280 インチ ロール式スクリーン  
横幅 / 縦幅 ( 6198mm / 3486mm )  
画面比率 : 16:9



4. スクリーンを使用しないときには、ロール式スクリーン昇降スイッチの[ ]ボタン  
を押し、天井に据え付けられた収納部に格納できます。  
スクリーンが巻き取られると自動停止します。途中でSTOPボタンを押す必要は不要です。



## 2. 操作卓への電源投入

建築会館ホール前方には操作卓が配置されており、音響に加えて、映像系の機能も、操作卓に集約されています。ホールでマイクやプロジェクタを使用する際は、まず操作卓の主電源をONにする必要があります。

### 2.1) 操作卓の主電源投入

操作卓のラック最下部にある「主電源スイッチ」を押します。

これにより、ホール音響・映像系機器の電源が一括してONになります。



#### <重要>

電源投入によって、マイク機能は直ちにONになりますが、プロジェクタ映像切替え機能は完全起動完了までに3分程度を要します。このため、電源投入直後は、後述の「操作リモコン」の映像系統の切替え機能が効かない場合があります。



操作卓への電源投入後、  
映像切替え機能は完全起動完了までに3分程度を要します。

### 3. 操作コントローラによる、プロジェクタの操作と入力切替え方法

#### 3.1) 建築会館ホールのプロジェクタの概要

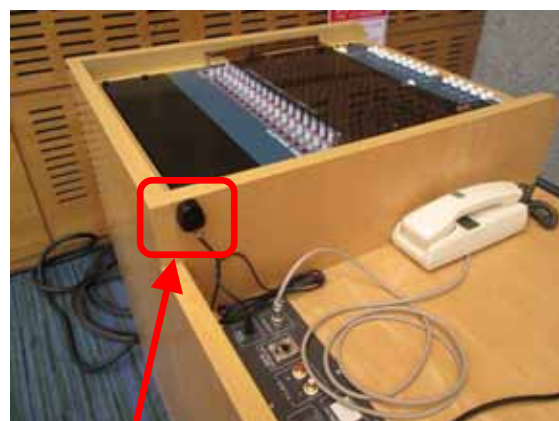
建築会館ではホール後方2Fの調光室にレーザー光源のプロジェクタが設置されています。  
各種操作は、ホール前方の操作卓上に配置された操作コントローラで行います。

<プロジェクタ機種>

Sony製1万2000ルーメン「VPL-FHZ120L」

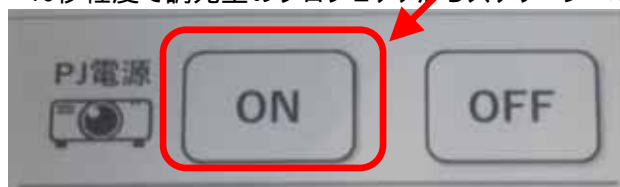
#### 3.2) 操作コントローラの使用方法

- 1) 操作コントローラを充電台(クレードル)から外して手元にとります。



操作コントローラの受光部は、操作卓に上図のように設置されていますので、こちらに向けて操作してください。

- 2) プロジェクタ電源をONにするため、「ON」ボタンをタップします。  
10秒程度で調光室のプロジェクタからスクリーンへの映像投影が開始されます。



入力信号がない場合にはプロジェクタからは、ブルーの光が投影されます。

- 3) 映像選択欄において、プロジェクタに入力したい系統をタップします。  
通常は演台PCを選択してください。



<参考>

各ボタンに配置された入力系統は下記の通りです。

HDMI 1 : 操作卓上面のHDMI - 1 端子

HDMI 2 : 操作卓上面のHDMI - 2 端子

RGB : 操作卓上面のRGB端子

ビデオ : 操作卓上面のビデオ端子

B D - D V D : 操作卓ラック上部のD V D デッキの映像 / 音声

演台 P C : 操作卓からケーブル接続された演台

映像OFF : 映像ミュート機能。

一旦映像を消えますが、別の入力を選択することで、直ちに復帰できます。

<ご注意>

入力元は複数選択できません。

PCでの映像を投影しながら音楽を掛ける場合には、操作卓上面のDVDプレーヤーのスライダーでボリュームを調整してください。

<重要>

「操作リモコン」で入力元を選択すると、本体がバイブレータで振動して反応しますが、リモコン画面上は現在選択されている入力元はハイライトされず確認できません。

操作卓ラック中部にあるセクターのインジケータランプでご確認ください。



- 4) PJ電源欄の「OFF」ボタンをタップすると、プロジェクタの電源が切れます。  
10秒程度でプロジェクタの電源が切れます。



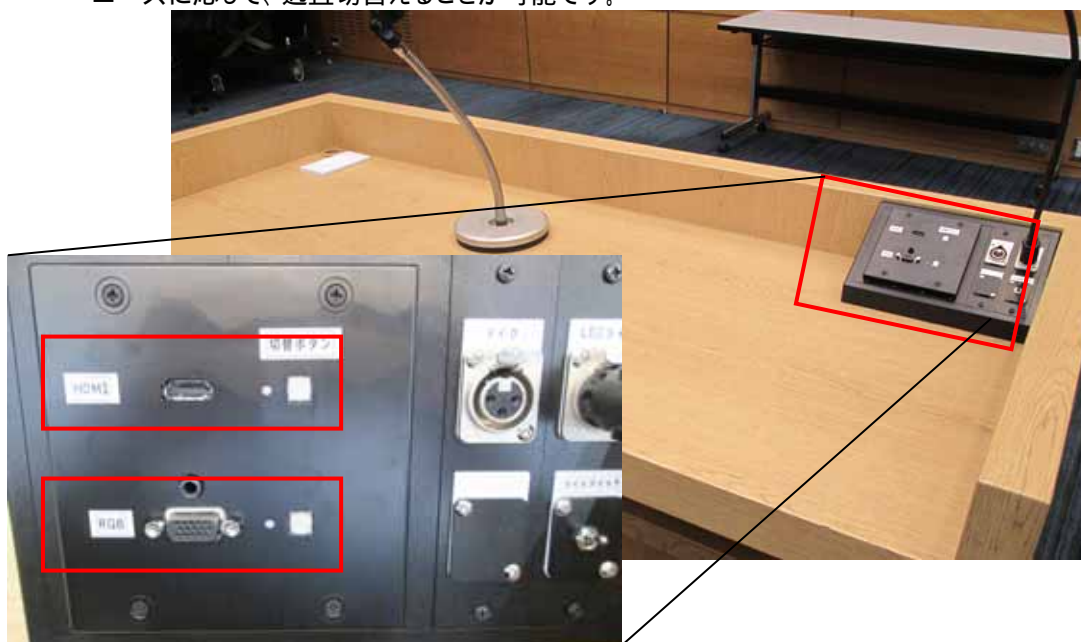
#### 4. 演台側での入力映像切り替え

建築会館ホールの大演台と中演台には、HDMIとRGBのコネクタが備わっていますので、ニーズに応じて、適宜切替えることが可能です。

- 1) 操作リモコンで、演台PCを選択してください。



- 2) 建築会館ホールの大演台と中演台には、HDMIとRGBのコネクタが備わっていますので、ニーズに応じて、適宜切替えることが可能です。



演台でPCを利用する際には、演台と操作卓とケーブル結線が必要ですが、会場ご利用ニーズをお伺いした建築会館側で準備を行いますので、お客様による作業は不要です。



## 5. ホール照明切り替えの受信センサー位置

従前は天井に配置されていたホール照明切り替えセンサーの位置を、ホール全面の壁面に移動し感度向上を図りました。

<変更前>



<変更後>



照明用リモコンで、このセンサーに向けてボタンを押してください。

## 6. 操作卓上面の端子への直接入力

演台を経由することなく、操作卓上面の端子に直接映像を入力することもできます。操作卓上面の各端子の位置と、操作コントローラの対応は下記のとおりです。

操作コントローラ



ビデオ入力

HDMI

RGB

操作卓上面のコネクタ



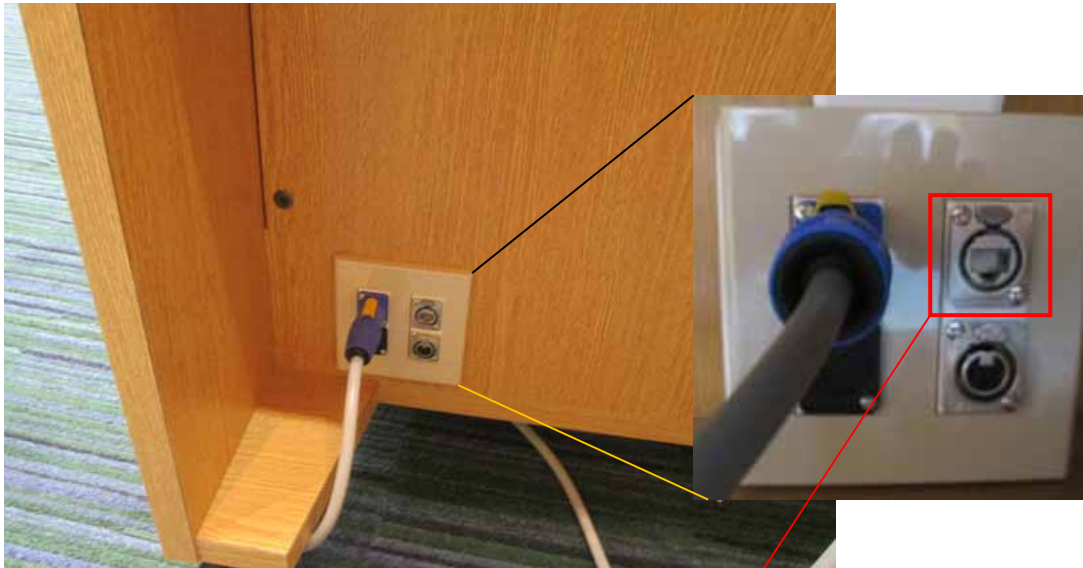
ブルーレイDVDデッキによるコンテンツ再生



## 7. 大演台 / 中演台と、操作卓の結線

大演台 / 中演台には前述のとおり、HDMIとRGBの入力端子があります。

この映像をプロジェクタに投影するには、大演台 / 中演台を、操作卓上の「演台接続」端子と結線する必要があります。接続にはカテゴリ-5のLANケーブルを利用します。



カテゴリ-5のLANケーブルで接続し映像信号を送る。



演台接続端子に入った映像信号が、プロジェクタから投影される。



操作リモコンでは、「演台PC」をタップします。